

# みんなみらい 2016 いせ

36号

2016.2.1

議会だより

守っていきたい伝統!

—竈方弓場式(相賀浦) —

主な内容

平成27年 第4回
12月定例会 ..... 2 ~ 3
一般質問 ..... 4 ~ 12
みんなのつぶやき ..... 13
委員会報告 ..... 14 ~ 15
みんなでやつとるで~ ほか ..... 16

発行／三重県南伊勢町議会  
〒516-0194 三重県度会郡南伊勢町五ヶ所浦3057  
編集／議会広報特別委員会

# 平成27年 第4回定例会

## 認定

12月8日から10日までの3日間で12月定例会が開催され、9月定期会において常任委員会へ付託された平成26年度各会計決算の委員長報告と認定決議をはじめ、平成27年度補正予算6件、条例の制定2件、条例の一部改正6件、その他の議案6件、諮詢2件、同意1件、発議1件が審議されました。



平成26年度南伊勢町一般会計歳入歳出決算

賛成多数

反対議員

山本

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計歳入歳出決算

賛成多数

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計歳入歳出決算

賛成多数

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成26年度南伊勢町介護保険特別会計歳入歳出決算

賛成多数

全員賛成

平成26年度南伊勢町介護保険特別会計歳入歳出決算

賛成多数

全員賛成

## 議案

平成26年度南伊勢町病院事業会計決算

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成26年度南伊勢町病院事業会計補正予算(第1号)

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成26年度南伊勢町水道事業会計決算

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成26年度南伊勢町中支援チーム検討委員会設置条例

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成26年度南伊勢町一般会計補正予算(第9号)

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町一般会計補正予算(第9号)

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町一般会計補正予算(第3号)

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町一般会計補正予算(第4号)

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

## 同意

反対議員

久保 英喜

岡田 譲

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会共同設置条例

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会共同設置規約

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対議員

手塚 征男

岡田 和夫

手塚 周也

平成27年度南伊勢町三重県市町公平委員会教育委員会委員の任命

全員賛成

反対

# 補正予算 主な質疑

## 獣害被害の減少を



問

議員 鳥獣害防止  
総合対策費「報償  
費」の増額理由は。

答

水産農林課長  
当初予定より、多  
くの害獣が駆除されてい  
ることによる増額補正で  
ある。

問

議員 観光事業費  
の「工事請負費」の  
詳しい説明を。

答

観光商工課長  
下津浦にある、觀  
光トイレの改修を行  
うもの。

より良い整備を



問

議員 教育総務費  
の「高校生留学促  
進事業補助金」の内容説  
明を。

答

教育委員会  
人材育成を目的と  
した事業で、今回の補助  
は、南伊勢高校南勢校舎  
の生徒1名が、東南アジ  
アの英語圏の国へ留学す  
ることに対するものであ  
る。

## 国際的な視野を



# テーマは

## 若者定住と生涯現役 まちづくり政策監



掛橋 靖 議員



まだまだ若い者には

**問** 人口流出と産業の衰退や教育全般との因果関係はあるか。  
**答** 町長 各家庭において、保護者の仕事や住居、経済的など、進学・通学の利便性などの事情により、町外へ転出してしまうケースもあると考えている。

**問** 基幹産業の再構築をめざすうえで、従来の産業再生と転換、そして新たな産業創出のキーワードは。

**答** 町長 気候や風土などの「自然」、資源としての「文化」、地場の「産業」など、当町が独自に持つ魅力や価値への気づきが大事と考える。そしてそれらを活かした当町ならではの農林水産業を構築していくことが大切。

## 新たな産業創出は 風土や気候を活かして 町長

**問** 地方創生への取組方針として進めていくテーマ・キーワードは。  
**答** まちづくり政策監 創生の課題は「若者定住」と「生涯現役」。その2つを大きなテーマと考えている。キーワードは、前者が「学校」「人材育成」「地域資源」「しごと」など、後者が「多様的な就業環境」「コミュニティビジネス」「小さ

**問** 現状で支障となり得る課題は。  
**答** まちづくり政策監 人口が少ないとすることは、実際の取組をしていくうえで、動ける人の数もリーダー的な人材も少ないということ。これが一番の課題と捉えている。



わくわく体験



倉田 育 議員



医療の要

# 交付税措置変更の影響は減額となる 病院事務長

町立病院の地方交付税措置について、

算定基礎となるものが「許可病少數」から「稼動病少數」に変更となるが、町立病院への影響とその対策は。

**答** 病院事務長 緩和

措置が適用されるが、平成30年度から完全移行され、金額にして5,000万円程度の減額となる。非常に厳しい状況ではあるが、対策として、病床稼動数のさらなる向上と外来部門の充実強化など、収益構造の改善を図

るとともに、経費などの徹底した削減を行っていく。

理想とのギャップなど、それぞれの事情があり、一概には言えないというのが現状であった。方策として、院長と職員のフリートークや定期的な面談など、日頃からコミュニケーションを深めることや待遇面を含む労働環境の改善など、定着率の向上を図る努力をしている。

**問** 看護師中途退職者の調査結果と改善方法は。

**答** 病院事務長 退職

理由については、家族の転勤帯同、健康上の問題、労働条件のよい病院への転職、自らの

## 減額となる 病院事務長



アジのある教育を

## 4つの課題について

### どれもしっかりと取り組む 教育長

教育大綱の策定について

伴い、教育方針と、

全国的にも課題とされている子どもたちの「学ぶ意欲の低下」「自尊感情の低下」「規範意識の低下」「体力などの低下」へ

対応した取組は。

**答**

教育長 目標達成

のための主な事業や取組は、大綱に付随し直しも必要と感じるが、

ている基本事業にうたつ

ている。4つの課題については、「知・徳・体」のバランスが取れた教育の中でどれもしっかりと取り組んでいく。

教育委員会の考えは。  
**答** 教育長 障がいのある子どもたちの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援する

という視点に立ち、子どもたち一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高めるための適切な指導や必要な支援を行っている。

実のために、教育施設などの環境整備の見直しも必要と感じるが、

特別支援教育の充実のために、教育施設などの環境整備の見直しも必要と感じるが、

# 大切にしたいものは

## 人とのコミュニケーション まちづくり政策監



岡本 真 議員



キーワードは「ひと」

問

地方創生への取組  
がはじまり、当町  
においても地方創生総合  
戦略構想が進められて  
いるが、進捗状況と今後の  
予定、そして大切にした  
いことは。

答 まちづくり政策監  
目下、総合戦略を  
描き始めたところ。今後  
はその基本方針に沿って  
具体的な施策を決め、ア  
クションプランを創つて  
いく。また、キーワード  
は「ひと」。人を呼ぶのも  
「ひと」。人とのコミュニケーション  
を重要視し、人を呼び込めるひとが育  
つようなまちを創生して  
いきたい。

問

合併10周年を経て  
小中学校が統廃合  
され教育環境のハード面  
の整備は進んだが、山積  
する課題解決には、教育  
の充実とソフト面を整備  
する必要があるのであれば。

答

教育長 当町の大  
綱にあるように、  
子どもたちの夢の実現に  
向けて「知・徳・体」のバ  
ランスが取れた教育を進  
めていた。学力・体力は  
もとより、自分や他者の  
命も心も大切にすること  
ができる子どもたちを育  
てることも大切。また、

## ソフト面の充実を 取組を進める 教育長



自分らしさを表現

今後は学年や学区を問わ  
ずつながり合い、一人ひ  
とりの子どもが集団の中  
で自分らしさを表現し、  
安心して生活できるよう  
に取組を進める。



山本芳隆 議員



事故が起きる前に

## 空き家対策は

## 早急な検討が必要 町長

**問** 防災の観点から、総務建設常任委員会で視察した2軒の特定空き家は、わずかな外圧で倒壊しそうな危険性を感じた。被災時の避難に支障が生じると思われるが対策は。

**答** 町長 生活に密着し立地する危険家屋は早急に修繕や除去の検討が必要。しかし、法的な手続きが必要であり、必要な手順を踏んで進めなければならない課題もある。まずは所有者への働きかけをおこない、それぞれ事案に見合った措置をとつてもらう。所有者が履行しない場合や不明な場合は、空き家対策特別措置法に基づきそれぞれの事案で検討する。

国政にて1億総活躍社会の実現にむけて、「新三本の矢」の具体的施策が発表されたが、当町における地方創生の基本的な考え方とイメージは。

**問** 国政にて1億総活躍社会の実現にむけて、「新三本の矢」の具体的施策が発表されたが、当町における地方創生の基本的な考え方とイメージは。

**答** まちづくり政策監 「ひと」に関わる重点戦略とする。また、「地域に開かれた教育環境で誇れる町」「高齢者が生涯現役で活躍できる町」を将来のイメージとしている。

「ひと」に関わる重点戦略とする。また、「地域に開かれた教育環境で誇れるべきものは変えて地域を創生することを基本方針としている。そして、ひとの流れを変える戦略づくりや、まち・ひと・しごとの循環の改善、高齢者活躍の場づくりなど、

## 将来のイメージは

### 高齢者が活躍できるまち まちづくり政策監



活躍の場を

# 後退させないために

## 必要なサービスを 町長



手塚征男 議員

### 利用者負担が2割になる世帯も

2割負担



介護保険の利用者負担も変わる

問

国は介護保険の改革を進めている。

社会保障では国の負担を削減し、地方自治体と住民の負担が増え、高齢者の介護サービスの後退が懸念される中で、町としての努力はどうか。

答

町長 今年度介護保険制度の大きな改革があつたが、町としては制度改正の趣旨を理解していただくよう周知を図るとともに、介護サービスを後退させないよう

に、必要な人に必要なサービスを届けられるようなしくみを創っていく必要があると考えている。

地域振興の一つとして、町が関わって進めるブドウの試験的栽培。4年間の取組状況や中心となつて事業を進めている会の努力内容は。

問

地域振興の一つとして、町が関わって進めるブドウの試験的栽培。4年間の取組状況や中心となつて事業を進めている会の努力内容は。

## 栽培状況は

### 現状では厳しい 町長

答

町長 「南伊勢ワイナリーの会」と

ままでは当町でのブドウ栽培は厳しい状況であるとの認識は持つており、

今後の方向性について会の方々としっかりと話し合っていきたい。

被害はなかつたが、6月の梅雨時期に「ベト病」「うどんこ病」などの病気が発生し、結実した実が腐つてしまつた。現状の

- その他質問
- 南島西小学校高台移転問題について
- 地域振興・若者定住について



厳しい生育管理



山本周也 議員



空き家バンク取組強化も

**問** 平成26年度決算における歳出の一部支出に關し、不適切な会計処理があった。その原因に関して作成権限のある町職員が公文書を作成するにあたって、不適切な記入を行ったのではないかと疑いがあるが、これらの文書について町長の見解は。

不適切であつた 文書を作成したことについては、地方自治法及び会計規則上不適切な行為であったと認識している。8月20日に、わたしそ

**その他の質問**

- 真砂寮移転について
- 地域振興について

**問** 5月に施行された「空き家対策特別措置法」への対応について、当町において所有者不明の物件を確定する手段と、確定した場合の対応は。

**答** **町長** 特定空き家など的所有者については、区長や住民の方々などに聞き取り調査を実施する。それでもわからぬ場合は、不動産登記簿による名義確認、住民票・戸籍謄本などによる住民や権利者の確認などといった調査をしていく考え。それらの調査をし

ても所有者が分からぬ場合には、所有者不明と確定する。確定した場合の対応として、特別措置法に基づく略式代執行があり、改修や解体費用を町が負担することになるが、後に義務者が判明した場合、費用徴収をしたいと考えている。

## 公文書の記入について

### 不適切であつた 文書



再発防止・信頼回復を

**問**

平成26年度決算における歳出の一部

**答**

**町長** 平成26年度

の予算事業であつた各介護保険福祉計画に係る印刷製本業務において、5月29日に物品が納入されたものを、3月31日に納品があつたとする。関係書類が作成された。一部事実と異なる内容の文書を作成したことについては、地方自治法及び会計規則上不適切な行為であったと認識している。改善を進めていく。

### 不適切であつた 文書

### 不適切であつた 文書

# 倒壊への対応は特別措置法に基づいて 町長

# 移転用地の決定理由は

円滑に進めるため 教育長



岡田和夫 議員



安心安全な場所

問

旧五ヶ所中学校跡地を国道260号線バイパス工事による町営住宅移転用地にしたいと説明があつたが、町の将来のことを考えた場合に移転地は他の場所に決めるべきと考えるが。

答

教育長 国道260号事業について、

船越工区の現状は、未改良区間で人家の中を縫うように通行していく非常に危険な状況となつている。伊勢建設事務所が現

候補地も合わせて計画させていただいた。バイパス工事を円滑に進めるべきだと考えるが。

大切な町有財産である旧中学校跡地を苦渋の選択とし移転候補地として決定した。また敷地に余裕ができれば若者定住団地として活用していくことも考えている。

道拡幅やバイパス検討を行な、バイパス計画で実施していくことと決定し、

本年11月に地元説明会を

実施し、町営住宅の移転候補地も合わせて計画させていただいた。バイ

パス工事を円滑に進めるこ

とが大切であることから、

大切な町有財産である旧

中学校跡地を苦渋の選択

とし移転候補地として決

定した。また敷地に余裕

ができれば若者定住団地

として活用していくことを

とも考えている。

## 「和」の廃止理由は

民間事業者の充実により 町長

問

磯浦のデイサービスセンター「和」が来年3月末に廃止とい

うことだが、今後ますます高齢化が進む中で南海地区唯一の施設を廃止する理由は。

答

町長 町が設置する社会福祉協議会

のデイサービスセンター「和」は、事業が開始された当時は町内に同一の

サービスを提供する事業所が2つしかなく、地域福祉に大きく貢献していくためだ。しかしながら、現在の立地場所では海拔が低く津波の心配があること、また、民間事業者に重度の要介護認定者が利用できる機械浴槽が整備されてきたことから、訪問介護事業や新たに開始する総合事業などを見据えて十分検討していくこととしている。現在利用している方には、ご迷惑をかけないよう新たな受け入れ先との調整など社会福祉協議会と連携して進めていく。

● その他の質問

- 地域包括ケアについて
- 町立病院について



地元に愛されてきた「和」



田中喜一郎 議員

## 記念事業の総括は

### 大勢の人で賑わった 町長



町をあげて盛大に

問

当町が誕生して10周年。4月よりさまざまな記念事業が開催されたが、その総括は。

答

町長 昨年10月より、記念事業推進委員会を立ち上げ準備をし、「10周年」いかして未来へ「南伊勢」をスローガンに町民一丸となつてお祝いして頂くことを目的として推進してきた。その結果、従来の町主催のものだけでなく公募も含めて35の事業が計画され、町民の皆さん手作りによるイベントが開催された。大勢の人々に喜ばれ賑わう結果にながつた。

問 28年5月には伊勢志摩サミットが開催される。この影響で宿泊施設の不足、移動時の制限などで伊勢志摩地域を避けて他の地域へ修学旅行先を変更されることが懸念されるが。

答 町長 伊勢志摩サミット開催前後、修学旅行の日程が重なることでキャンセルの発生が懸念されるが、伊勢志摩学生団体

● 地域包括ケア体制について  
その他の質問

誘致委員会」を通じて、修学旅行の日程をずらしてキャンセル回避に努力している。さらに、伊勢志摩サミット開催を機会に付加価値の高い修学旅行企画商品をセールスし、学校やエージェントに働きかけをしている。



未来へつながる対策を

# 移転先は

## 中学校跡地を予定 町長



中山 盛 議員



安心・安全な高台へ

問 真砂寮の移転先と  
決定の経緯は。

答 町長 移転先については旧南島西中学校の跡地、現在のさくら保育園横のグラウンドを予定している。また、経緯については、平成26年8月6日の「わたりい老人福祉施設管理者・副管理者会議」で、高台移転事業進行の了承を得て検討に入った。この時点

での整備予定地は旧南島中学校跡地であったが、進入路の確保について県とも協議を行い、様々な角度から検討した結果、現状では確保が難しく、建設予定地として27年度内の「基本計画及び基本設計業務」を完了する目途が立たなくなつた。そのため近隣市町や町内の他の候補地も検討した結果、「防災上の観点から緊急性を優先するべ

き」という考え方のもと、中学校跡地であったが、町有地で十分な敷地面積をもち、進入路の確保がなされている旧南島西中学校グラウンド跡地に整備を行うこととなつた。このことは10月14日の全員協議会で説明を行い、その後南島地区の区長さんに説明のうえご理解いただき、11月4日には区長連絡協議会において全区長への説明をしたところとなつてている。

問 南島メディカルセンターの今後の医療体制、特に医師の確保について厚生連との話し合いは。

答 町長 医師の確保については、センターを新築移転し、指定管理制度により厚生連に管理委託を始めた当初から、常勤医3名の確保を管理者の果たすべき役割として強くお願いしているところ。難しい事情もあるが現在も同じく強く要望している。

## 医師の確保は 常勤医3名で要望 町長



一層の充実を

# みんなのつぶやき

## ■初志貫徹

去年の南伊勢町を振り返ってみると、移転や津波対策など、いろいろなことが中途半端で終わってしまっていたように思える。2016年は目標を達成できる環境を整えてもらい、住民の願いを1つでも多く叶えてくれるよう「初めに思い立った志を変えず、最後まで貫き通し」日々頑張っていってもらいたい。 (70代男性)

## ■今年も元氣で！

今年の正月3が日は本当に穏やかでええ日やった。世間ではサミットやらゆうて大変みたいやけど、今年も元氣で仕事できたらええ。正月のような、静かな一年やつたらええな。

(70代男性)



## あなたもつぶやきませんか？

どんなことでも大丈夫です(^^) / みんなでつぶやきましょう。思ったこと、感じてることを200字程度でつぶやいて下さい。  
※ハガキかFAXで送って下さいね。

〒516-0194  
南伊勢町五ヶ所浦3057  
議会事務局宛  
FAX 0599-66-2164

## ■思いっきりやらせたい！

中学校が統合して子どもがバス通学になりました。楽やけどクラブ活動の時間が短くなつたと残念がっていました。スポルトから続けてきて、やっと満足に試合が出来るようになったのに残念がっています。 (50代女性)

## ■春よ来い♪

この地に嫁いで25年。くねくねした峠道も少しずつ、少しずつ良くなり、この春最後のトンネルが開通予定。小学校、中学校のスクールバスはもちろんのこと、町バスやデマンドバスも便利になるはず。いつもより、春が待ち遠しい。春よ来い♪早く来い♪ (40代女性)

更なる議会の活性化を目指して！

# 常任委員会・特別委員会

～より良いまちづくりのために調査・研究などの活動をしています～

今回の視察目的！

## 地方創生・人口ビジョン

当町同様に人口減少に悩む穴水町と人口が増えている内灘町を視察してきました。

◆ 穴水町は当町とよく似たリアス式海岸の半農半漁の過疎化が進む町で、人口推移は、現在8,800人、2040年には5,075人になると予想されています。「新規漁業就業者担い手支援事業・漁具等準備支援事業」を設け、現状打開に取り組んでいました。一例として、東京都から、移住してきた若者夫婦の話を聞きました。他には「能登中居鑄物館」を中心とした観光業、能登ワイン工場の視察研修を行いました。



今回の視察目的！

## 老人福祉とへき地教育

少子高齢化が進む課題を抱え、安心安全と熱心に教育に取り組む先進地を視察してきました。

◆ 初日は、携帯型高齢者緊急通報装置を導入し、一人暮らしの高齢者が安心して生活をおくつているという大野町を訪問し、町外に住む家族も安心できるというシステムを勉強しました。このシステムはコールセンターの職員を介して家族や役場職員と連絡をとるというもので、緊急時に所持者がブザーのストラップを引くことで、コールセンターに通報が届き、安否確認がされます。さらに、同時に家族などの登録者にはブザーが引かれた旨のメールが発信されます。

◆ 2日目は、白川村を訪問し、「全中学生へのタブレット貸与（授業の電子化）」についての話を聞きました。タブレットの導入には議会でも賛否両論があつたとのことです。が、これから時代に即した子どもたちの教育を考え、また、実際に授業をする先生方や教育委員会の熱意を感じて、実用に踏み切ったところ、児童・生徒の学習意欲が向上したとのことです。

## 総務建設常任委員会

町の財政・町税・産業・建設・防災・上下水道・まちづくりなどについて調査や審査を担当しています。

私たち11月19日、20日の二日間、地方創生への取組研究のために、石川県穴水町と内灘町を訪れました。

教育・子育て・福祉・医療・生活・環境衛生・健康保険・介護保険などの調査や審査を担当します。

## 教育民生常任委員会

## 議会広報特別委員会

### 今回の視察目的！

よりわかりやすく伝えること  
広報誌コンクールで優秀賞を受賞している先進  
地2町を視察してきました。

◆二日目の久御山町議会は、議会だより表紙のタイトル「くみやま」を小学生低学年の児童に書いてもらったりして、町民の皆さんに親しみやすい表紙づくりにこだわっていました。より多くの町民の皆さんに興味を持つてもらえる誌面づくりを絶えず意識して、研究を重ねているとのこ

二日間、議会広報の研究のために、兵庫県猪名川町と京都府久御山町を訪れました。

### 当委員会の活動内容

#### ○議会だより「みなみいせ」年4回発行

- ・定期会開催前から誌面の構成会議をおこない発行準備に取り掛かります。
- ・定期会終了後から、原稿作成、写真撮り、レイアウト作成などをおこない、町民の皆さんから記事を集めたりします。
- ・何度か校正を繰り返し発行します。

#### ○年に一度、全国市町村議会主催の研修参加、または先進地視察をおこない、研究を重ねています。



■平成27年12月17日、18日の二日間、上村議長を団長に、副議長、議会運営委員会委員長、各常任委員会委員長の5名で、三重県庁、衆・参両議員会館、国土交通省へ陳情に行ってきました。



国交省にて江島政務官と

・国道260号東宮 - 河内間、通称三つ坂峠の早期改良工事着手への陳情活動をおこないました。三重県庁では鈴木知事、国土交通省では国土交通大臣政務官江島参議院議員に、三つ坂峠の厳しい道路事情、多発している事故件数、そして、町内全区長、P.T.A.、漁協はじめ各団体の生の声をまとめた要望書を提出し、町民の皆さんとの総意としての切実なる熱い思いをぶつけてきました。また、衆・参両議員会館では三重県選出代議士の皆さんにも後押しをお願いに要望書を提出してきました。



三重県庁にて  
鈴木英敬知事と

## 国道260号早期改良工事着手への陳情活動

# みんなでやつとるで～

町内のがんばっている人を紹介します！



## 田曽浦区自主防災隊

設立 平成17年  
隊員数 15名

田曽浦区には田曽浦区全住民を会員とした田曽浦区自主防災会があります。「住民全員で防災にあたろう」という考えです。その内部組織として、田曽浦区自主防災隊があります。防災に関する活動を中心となって企画そして行動していく実働部隊となります。

発足は平成16年に発生した三重県南東沖地震をきっかけに、消防団とは別組織で、消防団員が手薄になる平日昼間の防災活動を行うべく、また地震対策に特化した田曽浦区単独で動ける防災組織が必要ではないかと考え、平成17年度に立ち上げました。

「住民の防災意識向上」を目的に「災害時には一人の命もなくさない」「自分たちの命は自分たちで守る」「共助の心を育て皆で田曽浦を守る」をかけ、住民と共に活動を進めています。

### 募 集

議会だよりでは町のがんばり屋さんを募集しています。自薦他薦は問いません。  
※下記の議会事務局まで

11月27日、「三重県町村議会議長会」が三重県議会に対して町村行政を取り巻く厳しい現状を伝え、県の財政支援を訴えました。要望は「財政基盤の充実強化」「自治の確立」「防災対策の充実強化」「道路交通網の整備促進」など13項目にわたるもので、同議長会副会長の立場で参加した上村議長が、会長不在の中、先頭に立って、県議会の正副議長及び各常任委員長に町村への支援を強く求めました。



### 議会広報特別委員会

委員長	副委員長	委員長
倉田 健志	河村 伊久雄	東掛橋 靖

議長  
上村  
久仁



## 議会を傍聴しませんか

3月定例会が開催されます。  
開催は**3月2日～3月23日**の予定です。  
ぜひ傍聴してください。  
(当日、総務課で受付をしてください。)

FAX 0599-66-2178  
0599-66-2164  
電話 0599-66-2178  
0599-66-2164  
議会だよりについて  
お問い合わせなどは、  
議会事務局までご連絡  
ください。

今年一年が、皆さま  
方にとつて幸多い年に  
なりますようお祈り申  
し上げます。本年もよ  
ろしくお願いします。

今年は穏やかな幕開  
けでしたが、一年を通  
じてこのように穏やか  
に過ごしたいものです。  
昨年は、南伊勢町が誕  
生して、10年になる節  
目の年でしたが、これ  
からも私たち議会は、  
よりよいまちづくりを  
目指し頑張ってまいり  
ます。

## 編集後記

